

# 富良野市の子ども・子育て支援を検討するにあたって

人口推計からみた計画のポイント

08/28/2019

第2回富良野市子ども・子育て会議

# 1

## 富良野市の人口予測



# 子ども・子育て支援事業計画策定に向けた人口推計

今後5年で子ども人口は  
どのように変化するか？



子ども・子育て支援事業計画においては、事業量の見込みを算出する必要があります。

本資料では、子ども人口の推計を行うとともに、推計結果から得られるインサイトについてご説明します。

# 人口推計を行うにあたって

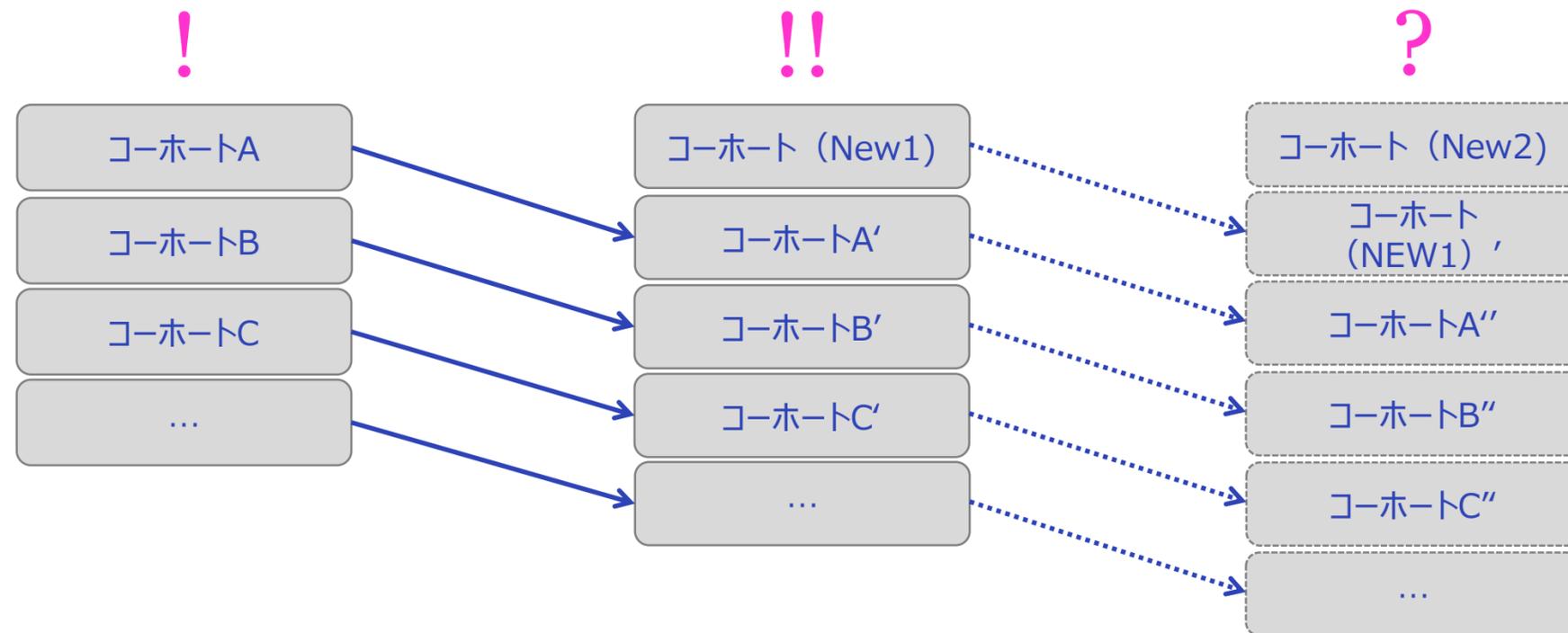
推計結果は、過去5年（平成27年～平成31年）の人口推移から、コーホートセンサス変化率法に基づいて推計したものである。

## 推計イメージ

特定期間（今回は5年間）に生まれた人の集団を、「コーホート」と呼びます。

5年後のコーホートを調べ、5年間でどれくらい変化したか割合を計算します。

過去の推移と同様に変化していくと仮定して、今後の人口を計算します。



今回は「過去5年間の変化がそのまま継続したら…」という前提で人口を予測。

# 子ども人口の推計

## 推計結果（子ども人口）

基準日 (H31)	2019 平成31年4月1日	2020 令和2年	2021 令和3年	2022 令和4年	2023 令和5年	2024 令和6年	平成31年→ 令和6年の 人口の変化
0歳	143	123	122	119	115	116	81.1
1歳	134	140	121	120	117	113	84.3
2歳	121	132	138	119	118	115	95.0
3歳	139	119	130	136	117	116	83.5
4歳	125	138	118	129	135	116	92.8
5歳	163	122	135	116	126	132	81.0
6歳	168	158	118	131	112	122	72.6
7歳	163	165	155	116	129	110	67.5
8歳	186	164	166	156	117	130	69.9
9歳	145	181	160	162	153	114	78.6
10歳	169	142	178	157	159	150	88.8
11歳	167	169	142	178	157	158	94.6

すべての年齢層（子ども人口）で減少傾向は継続。

子ども人口が減少する要因として考えられるのは以下の2点。

### 1. 出生率の低下

- 合計特殊出生率が低下することで、子ども人口が減少します。

### 2. 女性人口の減少

- 母親となる女性人口が減少すると、出生率の改善がみられても出生数が改善しない可能性があります。

# 女性人口の推移

## 女性人口の推移

年齢区分	2015 平成27年	2016 平成28年	2017 平成29年	2018 平成30年	2019 平成31年	平成27年→平成31年 の人口の変化
15～19歳	571	557	542	543	505	-0.12
20～24歳	460	447	447	462	486	0.06
25～29歳	<b>477</b>	<b>466</b>	<b>413</b>	<b>395</b>	<b>393</b>	-0.18
30～34歳	<b>589</b>	<b>555</b>	<b>534</b>	<b>492</b>	<b>478</b>	-0.19
35～39歳	<b>708</b>	<b>672</b>	<b>660</b>	<b>640</b>	<b>600</b>	-0.15
40～44歳	778	776	751	723	689	-0.11
45～49歳	761	785	759	723	747	-0.02

20代後半から30代にかけて女性人口が大幅に減少。この傾向は今後も継続する可能性が高い。

女性の就労が進んだことなどにより、大きなライフイベントが重なる人が増加していることがうかがえる。



大きなライフイベント(就労・昇進・結婚・出産…etc.)  
が重なる人口

子育て世代の負担を軽減していくことができれば、人口減少はさらに加速する可能性。

# 女性人口の推計

## 女性人口の推計

年齢区分	2020 令和2年	2021 令和3年	2022 令和4年	2023 令和5年	2024 令和6年	令和2年→令和6年の 人口の変化
15～19歳	503	465	437	398	382	-0.24
20～24歳	461	452	434	436	407	-0.12
25～29歳	<b>386</b>	<b>384</b>	<b>394</b>	<b>396</b>	<b>406</b>	0.05
30～34歳	<b>465</b>	<b>464</b>	<b>429</b>	<b>400</b>	<b>395</b>	-0.15
35～39歳	<b>561</b>	<b>520</b>	<b>509</b>	<b>476</b>	<b>457</b>	-0.19
40～44歳	679	637	620	610	570	-0.16
45～49歳	727	737	710	680	648	-0.11

今後も現在と同様の傾向が続いた場合、女性人口はさらに減少。

人口減少を前提とした子育て支援のあり方（一人ひとりの市民のニーズに寄り添えるような支援のあり方）について検討していく必要がある。



大きなライフイベント（就労・昇進・結婚・出産…etc.）  
が重なる人口

子ども・子育て支援事業計画に基づく行政施策として…

子育てを社会（家庭・地域…）全体で支える  
環境づくりを通じて女性の定住を図ることが必要。

# 子育て支援を通じて改善すべきポイント



## 出生数（出生率）の改善

- 人口を維持していく（増加させていく）ためには、合計特殊出生率（女性が生涯に出産する子どもの数）の改善が必要です。
- 結婚・出産・子育ての希望を叶えることのできる社会づくりが求められます。



## 母親となる女性人口の定着

- 人口減少問題について論じられる場面では合計特殊出生率がよく取り上げられていますが、仮に現時点で合計特殊出生率が2.06以上となったとしても、当面の人口減少は続く可能性が高いと言えます。
- 母親となる女性人口の減少を防ぐ取り組みも合わせて進めていく必要があります。



# 2

地域子ども・子育て支援  
事業の見込み量

# 事業の見込み量

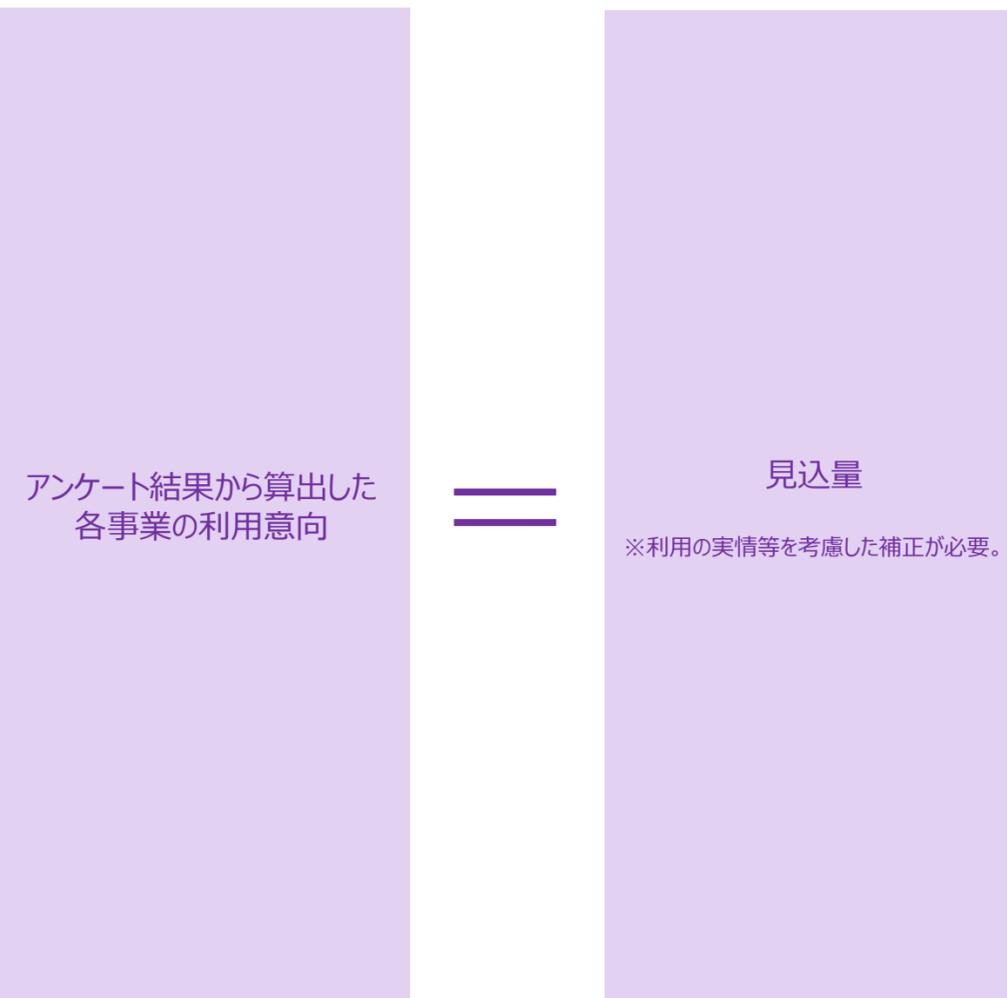
事業量の見込みの算出方法についてのイメージは以下のとおり。

アンケートではニーズ（必要）よりもウォンツ（希望）が出やすくなる傾向があるため、実際の利用と乖離しやすいことに留意が必要。

## 見込量の算出

基準日 (H31)	2019 平成31年4月1日	2020 令和2年	2021 令和3年	2022 令和4年	2023 令和5年	2024 令和6年	平成31年→ 令和6年の 人口の変化
0歳	143	123	122	119	115	116	81.1
1歳	134	140	121	120	117	113	84.3
2歳	121	132	138	119	118	115	95.0
3歳	139	119	130	136	117	116	83.5
4歳	125	138	118	129	135	116	92.8
5歳	163	122	135	116	126	132	81.0
6歳	168	158	118	131	112	122	72.6
7歳	163	165	155	116	129	110	67.5
8歳	186	164	166	156	117	130	69.9
9歳	145	181	160	162	153	114	78.6
10歳	169	142	178	157	159	150	88.8
11歳	167	169	142	178	157	158	94.6

人口推計結果



# 事業の見込み量

## 幼稚園・保育所の量の見込み

認定区分		年齢	単位	2020 令和2年	2021 令和3年	2022 令和4年	2023 令和5年	2024 令和6年
1号認定	幼稚園	3～5歳	人	129	131	120	118	111
2号認定	幼稚園	3～5歳	人	121	123	113	110	104
	保育所	3～5歳	人	131	133	122	119	112
3号認定	保育所 + 地域型保育	1・2歳	人	123	113	110	107	103
	保育所 + 地域型保育	0歳	人	57	57	55	53	53

人口推計結果とアンケート結果を利用し、国が作成した手引きに沿って各事業の見込みを算出すると、左のとおり。

# 事業の見込み量

## 地域子育て支援事業の量の見込み

事業		単位	2020 令和2年	2021 令和3年	2022 令和4年	2023 令和5年	2024 令和6年
時間外保育事業		人	87	85	80	78	75
放課後児童 健全育成事業	低学年	人	217	196	185	164	166
	高学年	人	119	115	119	111	101
子育て短期支援事業 (ショートステイ)		人	318	310	293	285	273
地域子育て支援拠点事業		人回	1,476	1,387	1,346	1,309	1,280
一時預かり他	一時預かり (幼稚園型)	人日	362	367	337	329	310
	2号認定による 定期的な利用	人日	33,404	33,404	33,404	33,404	33,404
	上記以外	人日	6,632	6,468	6,106	5,954	5,712
病児病後児保育 ファミリー・サポート・センター (病児・病後児)	0～5歳以下 家庭のみ	人日	1,435	1,402	1,322	1,289	1,235
子育て援助活動支援事業 ファミリー・サポート・センター (就学児)	低学年	人日	0	0	0	0	0
	高学年	人日	0	0	0	0	0

人口推計結果とアンケート結果を利用し、国が作成した手引きに沿って各事業の見込みを算出すると、左のとおり。

皆様にお聞きしたいこと

- どれだけの利用があると感じているか？
- どのようなサービスが不足していると感じるか？